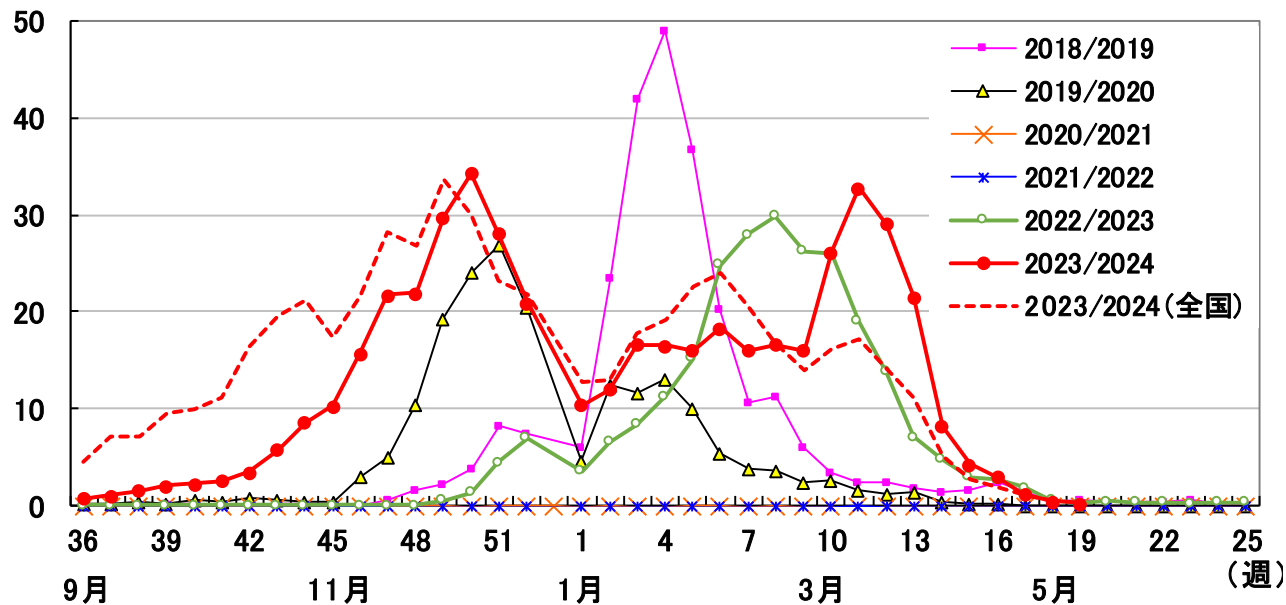


# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第19週(2024/5/6~5/12) 感染症発生動向調査速報値 (2024/5/15時点)】

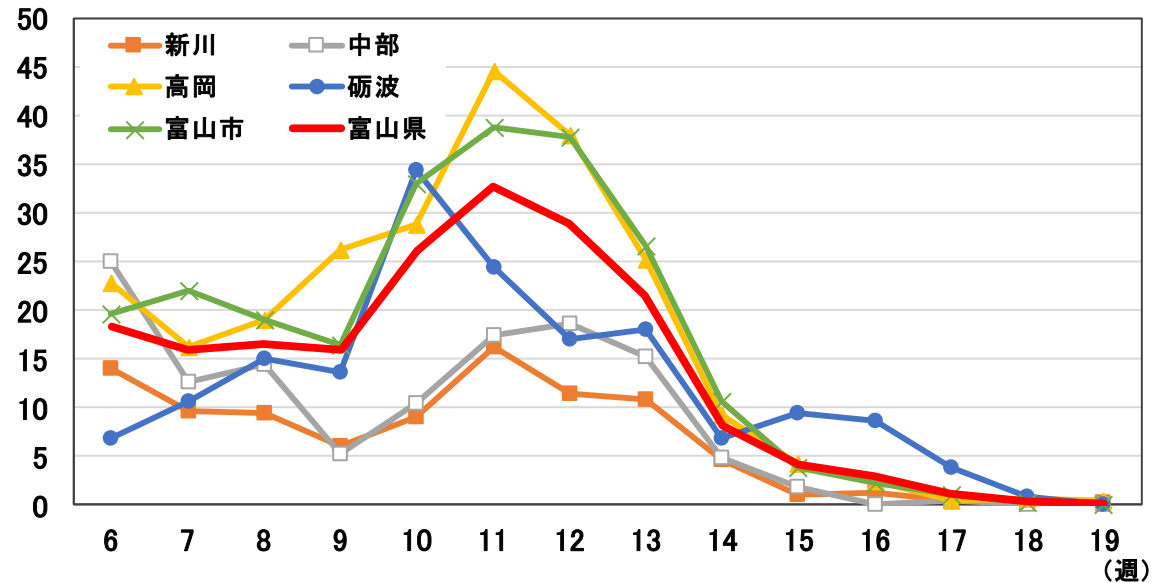
(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点)

図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数(図1)は今週(第19週) **0.19**人/定点となり、先週(0.40人/定点)から減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、全ての管内で先週と比較して減少または横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第19週)

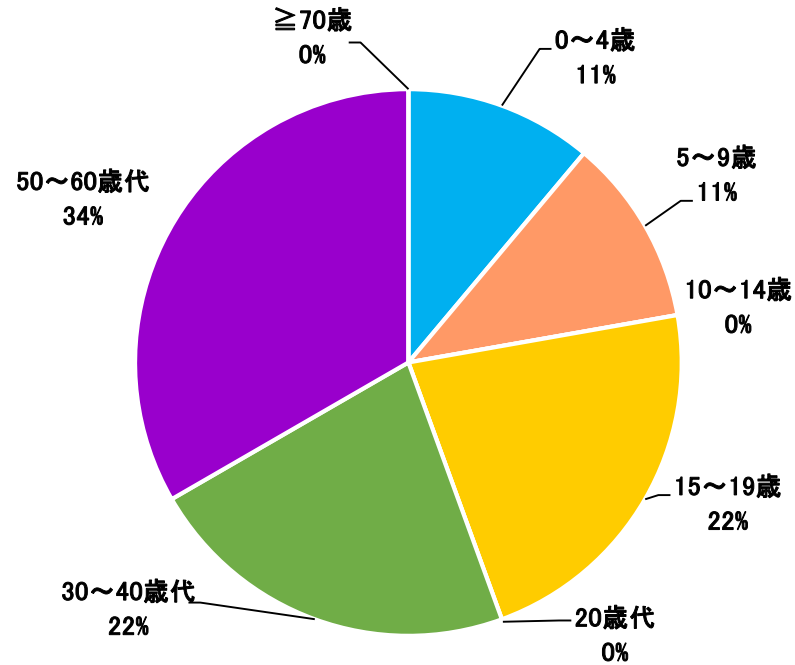
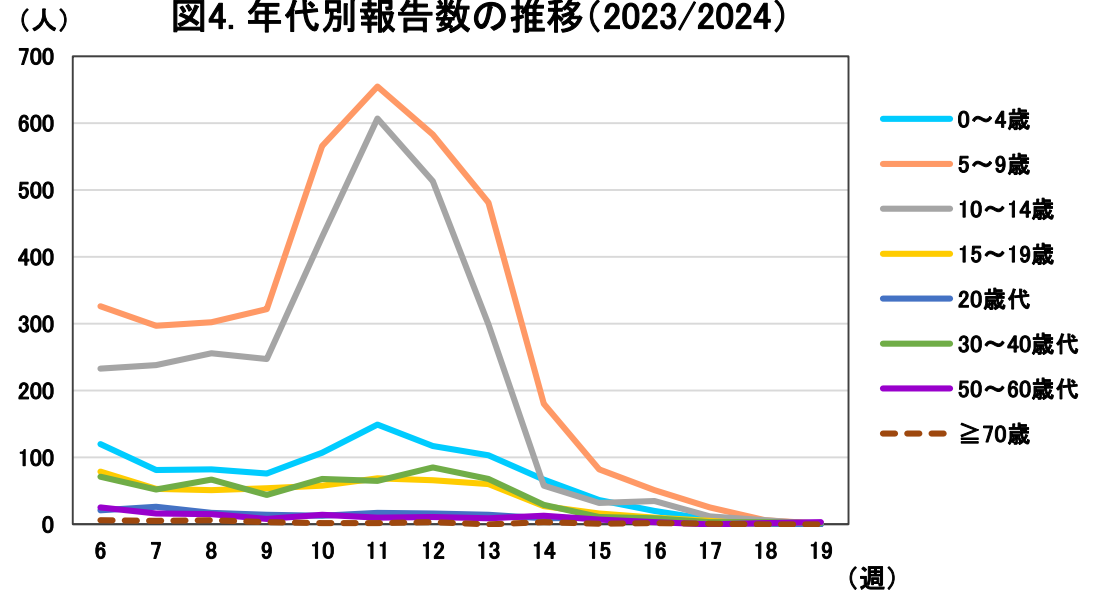


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第19週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が22%となり、先週（69%）から大幅に減少した。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代において先週と比較して減少または横ばいであった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第18週)

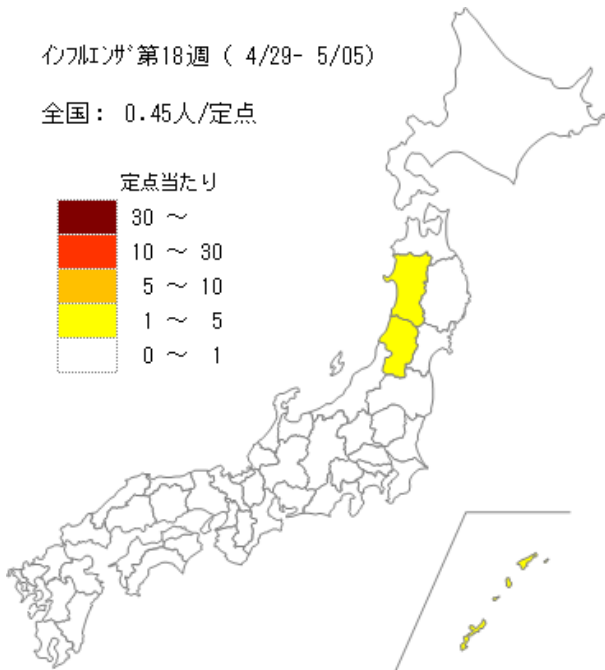
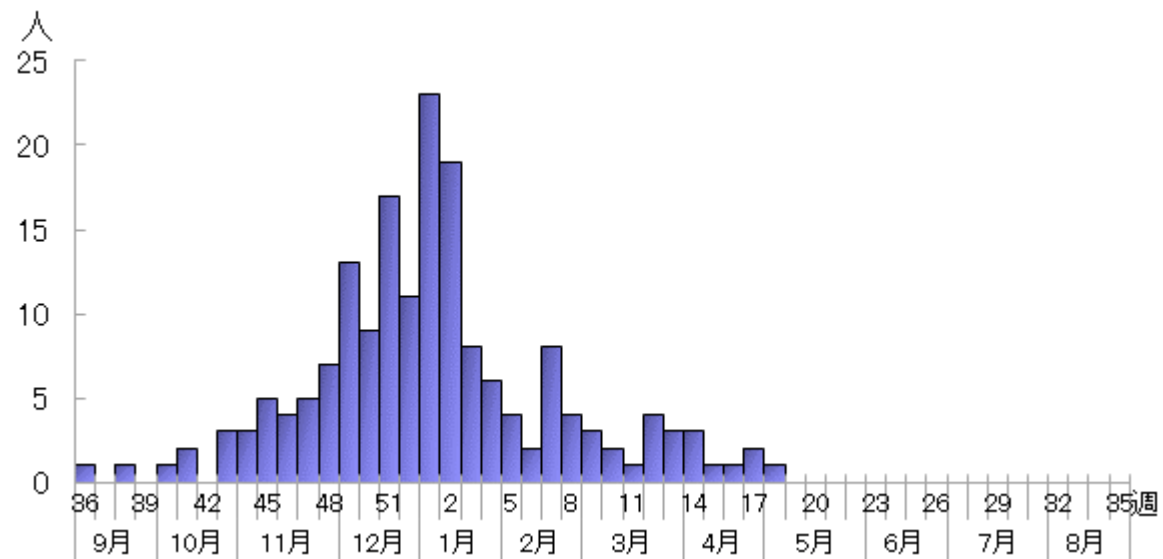


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第19週)



- 全国では第18週に0.45人/定点となり、第17週 (1.07) から減少した。都道府県別 (図5) では、注意報レベルの目安である10人/定点を超える都道府県はなかった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス (図6) では、第19週に報告はなかった。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は第11週をピークに減少が継続し、今週の報告数は0.19人/定点であった。先週に引き続き、報告数が流行入りの目安である1.00人/定点を下回ったことから、今シーズンの疫学所見の報告を終了する。